

【重要なお知らせ】SSL機能のクライアント認証をご使用されるお客様へ

SSL機能のクライアント認証を使用する場合は、以下の操作を行ってください。

- カメラファームウェアV3.0で、新規にSSL機能のクライアント認証をご使用される方は、以下の**手順 1、2 の設定**をおこなってください。
- 既に、「SSLクライアント認証」をご使用されており、V3.0 より前のVersionから、V3.0へアップデートする方は、**Versionアップ前に、必ず、手順2**の設定をおこなってください。

【手順 1】

SSLクライアント認証を設定する

カメラがSSL機能のクライアント認証を使用する際に必要となる、CA証明書の管理などを行います。
[SSLタブ]の「共通設定」と「SSLサーバー認証」については、ユーザーガイドをご覧ください。

共通設定

SSL 機能

SSLサーバー認証

証明書インストール方法

証明書のステータス

発行者識別名

サブジェクト識別名

有効期間

拡張キー使用法

インポート

秘密鍵パスワード

SSLクライアント認証

有効

信頼する CA 証明書 1

発行者識別名

サブジェクト識別名

有効期間

拡張キー使用法

インポート

← [SSLクライアント認証]を設定してください

ご注意

- ・クライアント認証を使用する場合には、お使いになるPCに個人用の証明書が正しくインポートされている必要があります。
詳しくは、【手順2】「個人用の証明書をインポートする」をご覧ください。このような準備ができない場合には、本タブの設定を行わないでください。カメラに接続できなくなる可能性があります。
- ・SSLクライアント認証は、SSLサーバー認証の証明書がアップロードされている場合にのみ設定可能となります。

1. 管理者設定メニューのセキュリティメニューの [SSLタブ] を開く。
2. 信頼するCA証明書 1 の [参照 ..] をクリックして、カメラに保存するCA証明書を選択する
3. 表示されるダイアログで [OK] ボタンをクリックする。選択したファイルがカメラに転送されます。
CA証明書は、4つまでインポートすることができます。サポートされる証明書形式は、PEM形式です。
4. SSLクライアント認証の「有効」にチェックを入れ、[OK] をクリックする。

ご注意

CA証明書以外にファイルを送信すると、インポート処理は無効となります。

CA証明書の内容表示するには

CA証明書が正しくカメラに保存されると、[発行者識別名]、[サブジェクト識別名]、[有効期間]、[拡張キー使用法]に情報が表示され、証明書の内容を確認することができます。

CA証明書を削除するには

[削除] をクリックすると選択したCA証明書をカメラから削除します。

補足

クライアント認証を有効化した場合には、下記のような手順で設定を行うことを推奨します。

- ① 必要なCA証明書をインポートする。
- ② SSLクライアント認証のチェックボックスを [有効] に設定し、[OK] をクリックする。

ご注意

SSLクライアント認証を [有効] に設定し、[OK] をクリックすると、カメラは直ちにクライアント認証を有効化しようと動作します。あらかじめお使いのPCの個人用の証明書が正しくインポートされていることを確認してください。詳しくは、[【手順2】「個人用の証明書をインポートする」](#)をご覧ください。

【手順2】

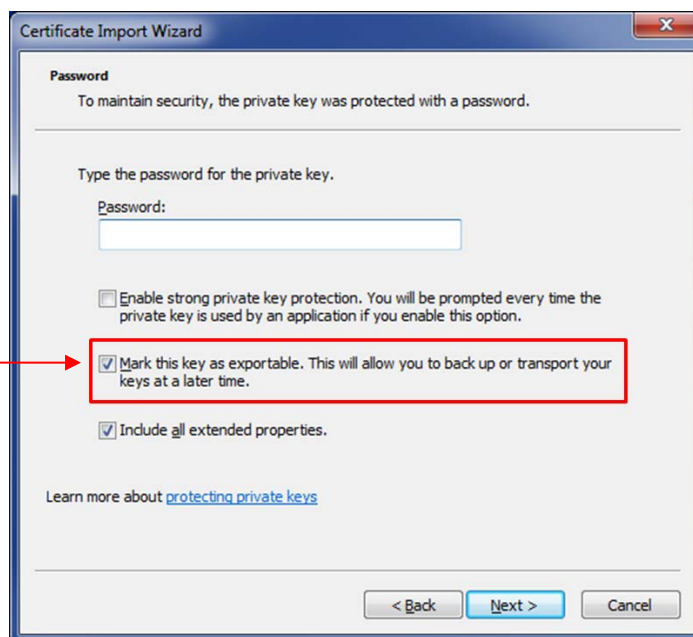
個人用の証明書をインポートする

クライアント認証を使用する場合は、以下の手順で、個人用の証明書のインポートを行ってください。

- 1 PCに保存された個人用の証明書をダブルクリックする。
- 2 [証明書インポートウィザードの開始] が表示されます。
- 3 途中で表示される「このキーをエクスポート可能にする」にチェックを入れてインポートを行ってください。



チェックを入れる



画面の指示に従って、インポートを終了してください。